



甲信越の景況は、住宅建築が足許減少したものの、個人消費、設備投資が持ち直すなど、緩やかな持ち直し。

個人消費は、衣料品を中心に大型小売店販売が減少したものの、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、緩やかな持ち直しの動き。住宅建築は、持家、貸家、分譲住宅いずれも減少するなど、足許減少。設備投資は、製造業で工場新設投資や情報化投資、非製造業で情報化・省力化・合理化投資がみられるなど、持ち直し。公共工事は、国、市町村が減少するなど、弱含み。輸出は、鉄鋼、金属鉱・くずが減少するなど、弱含み。

生産活動は、化学、窯業・土石製品が減少したものの、金属製品、電子部品・デバイスが増加するなど、持ち直しの動き。観光は、入込客や宿泊客が増加するなど、上向き。雇用は、建設業を中心に新規求人数が増加し、有効求人倍率が上昇するなど、改善傾向。

先行きは、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢